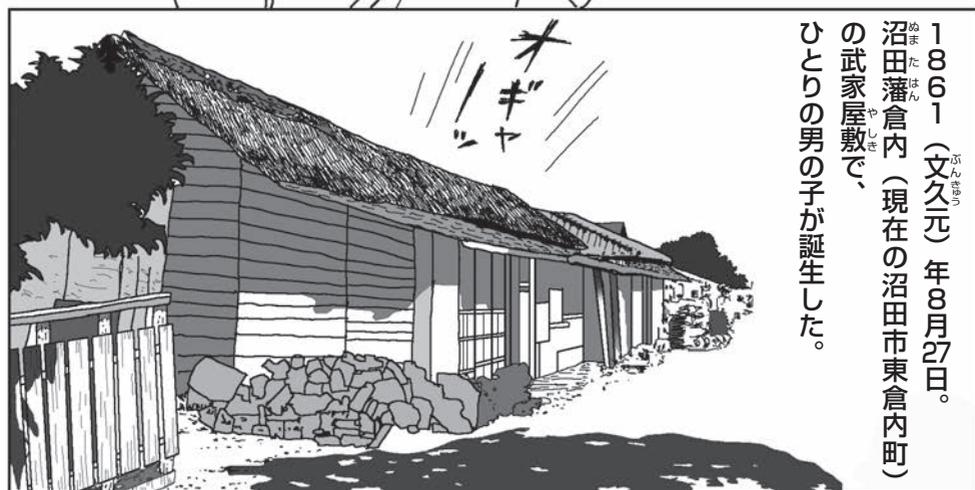
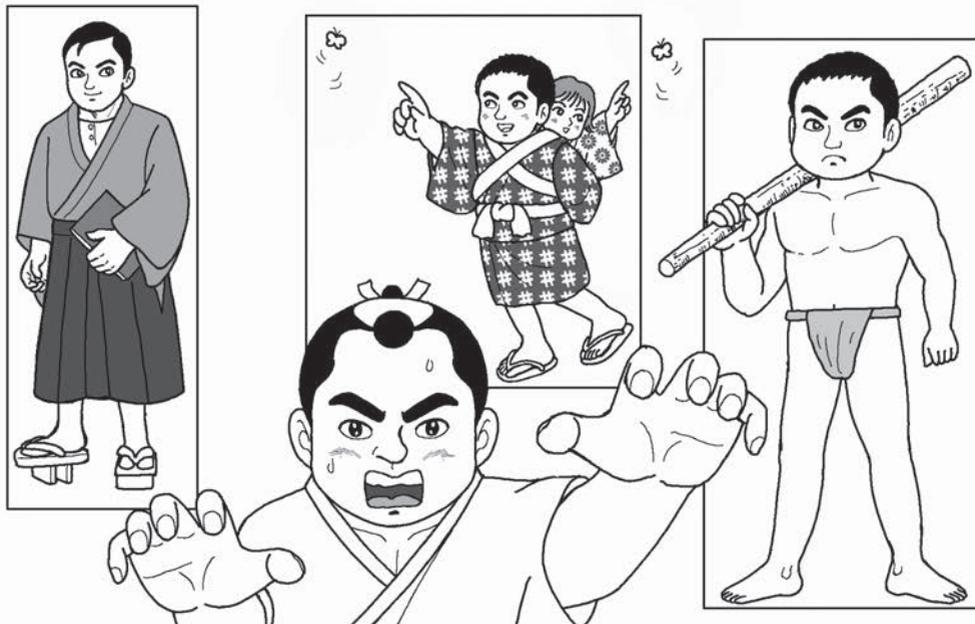


第1章 「にんたい忍耐」を心に刻んで





父は沼田藩の
 祐筆（文書・記録の
 仕事をする役）を務める
 久米権十郎。
 母は前橋藩士の娘りよ。
 3つ上に姉のとみがいた。



父権十郎は
 柔術・学問・書道と
 文武に優れ、
 500人もの門人を
 抱えていた。



生まれてきた
 男子は
 民之助と
 名づけられた

立
 立
 立



乱取り
 始め！

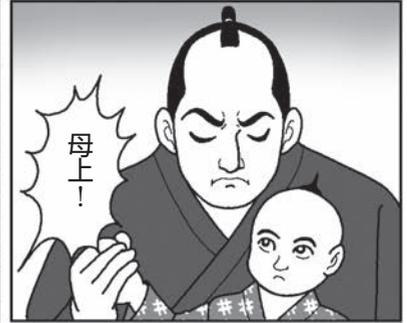
はい！

さあ、
 来い



とみちゃん
 大変！

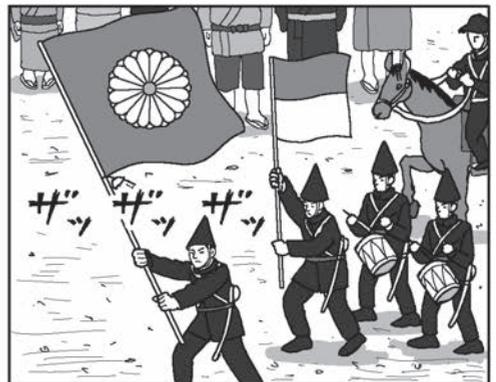




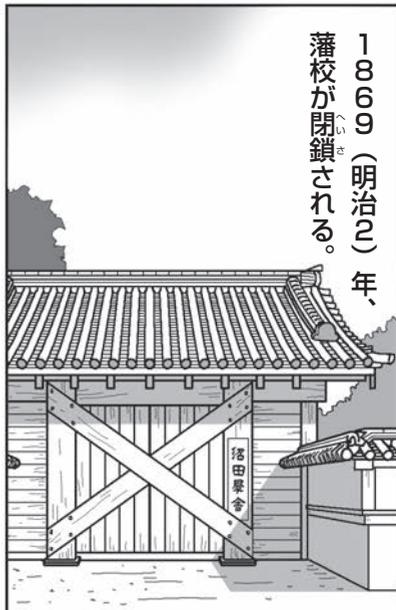




民之助の「忍耐」の心はこの頃に来たえられ長い人生を通じて民之助を支えていくことになる。



1869 (明治2) 年、
藩校が閉鎖される。



藩から久米家への
俸給 (給料) が途絶えた。
門人からのわずかな
謝礼はあったものの
久米家の生活は
苦しくなった。



これからは
みなに苦勞を
かけるだろう



はい



あの……
こんな時に
いがかかと
思いますが
……



なんだ？







しばらく
後――



父・権十郎が
病のために
49年の生涯を
閉じた。



母子4人の
生活は
苦しくなった。

もう
売るものも
ないわ……



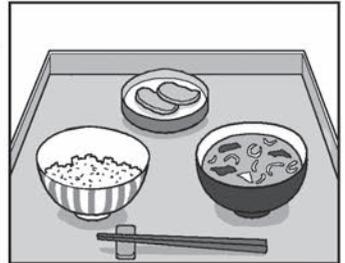
そんな一家を
見かねて、
中島藤兵衛を
はじめとする
権十郎の
門人(弟子)たちが
何かと力に
なってくれた。

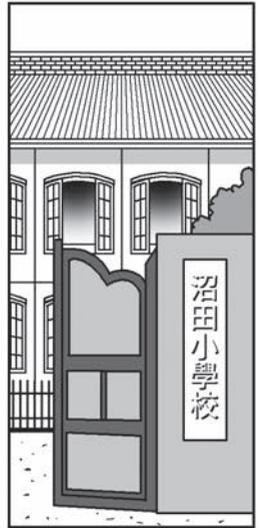


いつも
かたじけない
ことです



わずかですが
お役立て
ください







おう!

ほら、
捕まえた!



民之助の
わんぱくぶりは
相変わらず
だった。



あつ、
おまえ



また
別の日には

おつ
すも
相撲か
僕も仲間
に入れてくれー



弱い者
いじめ
するな
ーっ



町の中でも……



1875 (明治8) 年
民之助が
かわいがっていた妹
かねが死去。



民之助は
3日の間
泣き続けた
という。



かね
どうして
おまえまで

ううう……

1876 (明治9) 年
姉のとみが
沼田小学校の教師
中村剛につぐ。



民之助くんは
学業は優秀、
向学心もある

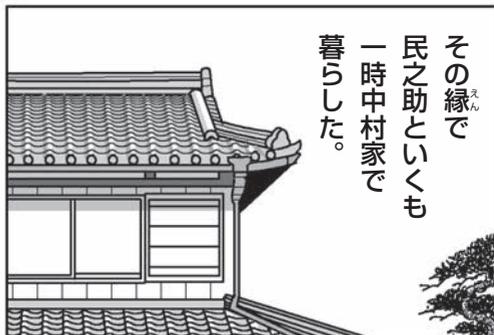
民之助の
将来について
中村たちは……

高井さんは
どう
思われる？



はい

その縁^{えん}で
民之助といくも
一時中村家で
暮らした。

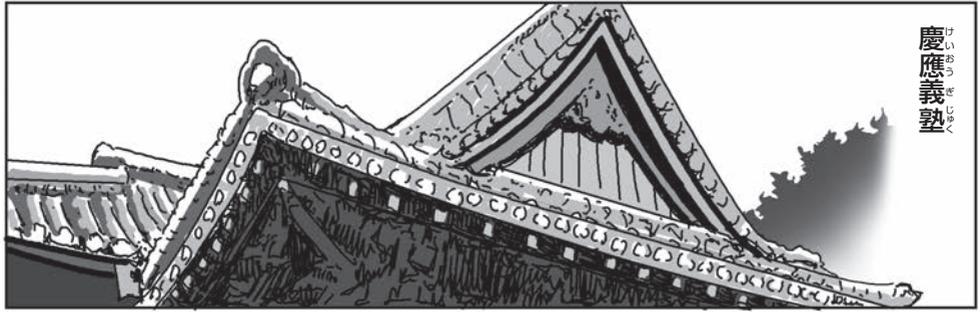






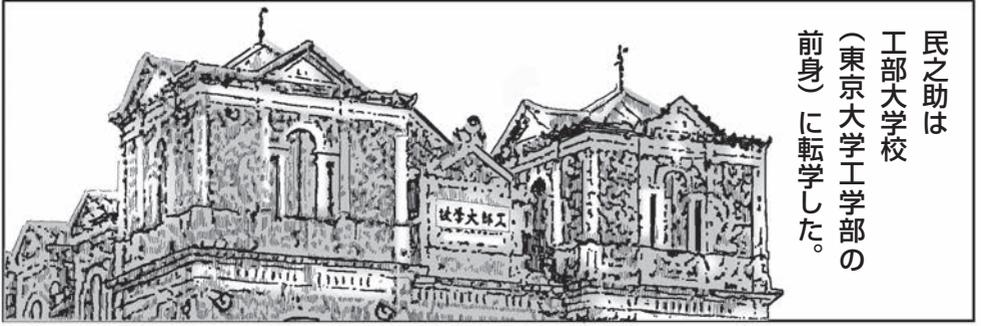
沼田から
東京まで
約145kmの
道のりを
歩いた。

志を
とげるまで
帰らないぞ

2年後



民之助は
工部大学校
(東京大学工学部の
前身)に転学した。



あまえて
ばかり
いられない。
自分でも
働かなくちゃ

グザッ



相変わらず
援助は続いて
いたが……

兄ちゃん
次、
こつち頼むよ

はい



働きながらも
学業に励んだ。

フム
フム



こんばんは

おう、
また
あなたか

焼き芋
好きなんだ
ねえ

焼き芋



民之助の
俊才ぶりと
苦学する
事情を知った
大鳥圭介や
大倉喜八郎らも
援助したという。

大鳥圭介

江戸末期～明治時代初期の政治家。西洋の学問や兵学を学び、幕府に仕える。明治期には政府の役人として工部大学長、学習院長などを務めた。



大倉喜八郎

江戸～昭和時代の実業家。若いころから商売を始める。明治時代に事業を広げ、大倉財閥を築く。



